

『英語上級者への道 ～英検1級合格を目指して』

第1回 効率よく、確実に英語力をあげるためのヒント

日本語訳

■Opening Dialogue

T: こんにちは、エドワード。いい知らせがあるんだ…。新しいシリーズをインターネットのサイトで始めるんだよ。どう思う？

E: すばらしいじゃないか。英検タイムズの一翼を担えるのは、大変うれしいことです。もう何年、このインターネットのページで仕事をしてきたんだろう。

T: だれか数えているかなあ。楽しいことをやっているときは、時間はあっというまに過ぎていくね。

E: こうとも言えるんじゃない？ 蛙に言わせれば、「飛ぶハエをつかまえている時間は楽しい」

T: このシリーズ、初めての冗談だね。この辺で、まじめな話題へと移りましょう。新しいシリーズの内容や目的について触れておきましょう。

E: 興味津津だな…。英語教授法は、大いに研究が進んでいる。その成果を学習者のみなさんに伝えるべきですね。

T: ぜひ、そうしましょう。エドワード、私たち日本人は、とても忙しい国民として世界中に知られているでしょ。

E: そうだね。私は、日本社会が持つ基本的な勤勉さに、いつも敬意を払っています。でも、その勤勉さが犠牲にしていることもあるよね。

T: だから、私たちの出番ですよ。新しいシリーズが、多忙な毎日の中へ英語学習をどう取り込んでいくか、ということについて、助言ができればいいな、と思っています。さらに、夢中になれる新しい学習法や、優れた教材を提示したり、学習の補助になるネタを紹介したいですね。

E: 素晴らしいですね。現代に生きる人々は、厳しい課題に直面していると思います。時間管理をもっと有効にできるように、勉強するための工夫について、効果的なものを、編み出していく、そんなお手伝いができるといいですね。さて、時は金なりだ！ 待ってちゃいけない！

T&E: さあ、行ってみよう！

Dialogue 1 を聞いて、「エドワードとテツは、どんな助言を与えているか」

という問いに1分間で答えてみましょう。

■Dialogue 1

T: エドワードは、ずいぶん長く日本での英語教授の経験を積み重ねられる中で、きっと、思いがけない発見をしてきたと思うのですが、とくに日本人の英語学習者特有のものがあるのではないかと。

E: そうですね。まずは、正直いって、12年以上この国で教えてきて、その中で、まじめな学習者のみなさんがたくさんいて、そういったみなさんの頑張る精神力の強さが、すごいなと思っています。一つの答えとして、当然ながら、そうですね、言葉や文化には、それぞれ独自の物の見方、考え方があります。それが、外国語習得の方法、学習法にそれぞれに特有の影響を与えるのです。

T: もう少し具体的に教えてもらえますか？

E: そうですね。日本の小学校で学ぶ子供について考えてみましょう。記憶が正しければ、漢字の「勉強」は英語では **study** ですね、この漢字は、3年生で教わると思うのですが。私の息子は、正しい筆順や、上手に体裁を整えるといったことでかなり苦勞をしていたのを覚えています。でも、息子はその言葉を書けるようになる前、ずっと前に、その言葉を発音したり、使い方についてはもうわかっていた。

その音と意味、これがすでに十分に作り上げられていて、その単語の意味するところもしっかり内在化されている状態でした。

T: おっしゃりたいことがわかってきました。息子さんは、勉強という単語をすでに、口頭で交わす言語としては習得していた、だから、その二つの漢字の形をおぼえることに集中することができた。しかし、英語学習者が英語の単語を覚えるときは…

E: その通りです。音と意味を一致させるという最初の段階をみなさん、通過すべきなのです。問題は、みなさんがしばしば、それをしていない、ということです。

T: 確かにそうですね。日本人は、単語の音の感覚というものを、よくないがしろにしますね。日本には高度に視覚的な文学の伝統があります。音声教材が学習の一部であっても、積極的に聞かないことが往々にしてあるようです。その結果、口から出てくる英語が、十分に内容を伝えたり、きちんとした音声になっている、というところまで達していない、ということになっているようです。

E: その通りです！ 文化的に注目すべき点として、ひろく国際的な経験を持つ教師達は、口頭練習に本気で取り組むことに気が進まない日本人学習者がいるという点を挙げています。他の国からの学習者の方が、こういった練習には、より積極的に取り組むようです。

T: 音を覚えるということに注目していないので、読むことについても、みなさんスピードが遅い。日本語で文章の一節を読むとなると、音読するときよりも、普通、ずっと早く読み終わりますよね。日本人の学習者は、英語を母国語とする人が、ある英文の一節を読み上げていくそのスピードで、英文を眼で追いかけていくことができない、そんなことがよくあります。こういったことは、話す力と読む力のつながりをはっきり表していますね。

E: すらすら読める人になる、さらさら書けるようになる、そうなるためには、聞くこと、話すことの両方をしっかり練習することが、確かに必要なのです。全てが関連しているのです。講義を聞いているときには、話し手に講義を止めて、またもう一度話してもらうことはできません。聞いてすばやくその情報を処理することが必要なのです。

T: まったく同感です。学習者がよく知っている語彙で構成された文章を、理解できないということがよくあります。速さについていけないのですね。私は幸いにも、学生時代にこの点に気付きました。よい音声教材を買って、しっかり聞いて、再生する力を養成したんですよ。

E: それは良いことでしたね。まず、音ありきです。というのも私たち自身がそうやって、まずは音があって、そこから成長してきたわけですから…。私たちが教える方法では、みなさん、音で始まり、音で終わりますよ。

テツとエドワードはそんな助言を伝えていますか。

1分間で英語で説明してください。

■Model

日本の多くの英語学習者は、聴いて理解することに問題を抱えている。知っている単語だけからなる英文の一節を、よく聞き取ることができない。この理由は、単語の音声面を内在化させていないからだ。音は意味を伝える。意味と発音、言い換えれば、その単語を表す音の一連のつながりだが、この二つは、完璧に一致したものとして暗記されるべきものだ。例文を覚えるとき、同じことをすべきだ。日本人の英語学習者は、漢字を学習した時の方法に影響を受けすぎている。例えば、勉強という漢字を覚えた時、

みなさんはすでにその単語の意味を知っていた。そして、意味と音が完全に一致していた状態だった。日本の英語学習者は、この事実に注目し、音と意味と一緒に覚えるということにもっと焦点を当てるべきである。リピート練習や音読練習はとても大切になる。

こうした方法は、聞く力を磨いてくれるだけでなく、読む速さや理解の速さを向上させてくれる。

Dialogue 2 を聞いて、「エドワードとテツがどんな助言を与えていますか」

という質問に1分間で答えなさい。

■ Dialogue 2

E: 先生方は、よく、日本の学習者のほとんどが受け身のだと指摘しています。とりわけ自主性を大いに要求される練習では、特にその傾向が強いと指摘しています。私はヨーロッパで、長く教えました、そこでは、そのような傾向はみられませんでした。どうしてなのでしょう。

T: 中学校や高校での授業を観察すれば、答えははっきりします。

E: どういうことですか。

T: 日本の学校での流儀があつて、学生たちは、とても受け身でいることが良いとされています。静かに座っていて、先生に「答えなさい」と指名されたときだけ、反応をすることが良しとされている。その答えも大体、決まっていて、学生の答えに違いはほとんど見られないのです。

E: 1800年代のヨーロッパの学校の状況みたいですね。こんな諺があります、「子供たちは観察されるべきで、発言するべきではない」。すぐれた言語能力につながるとは、思えません。

T: 同感です。私たちが使う方法では、そのような状況を修正しようとして、再生、つまり聞いたことをもう一度言ったり、読んだことを言ったりするということをたくさんしますね。

E: そうです。だから、よくジャンケンをして、「勝った人、もう一人の人に、『高等教育を受けるべきだと思いますか』と英語で聞きなさい。負けた人、答えなさい。2分間はこの話題で話し続けること。用意、始め！」とか。こんな練習はとても効果的な練習です。

T: そうですね。私たちの方法では、こんなことを様々に応用変化させることができます。たとえば、二人一組になって、片方が、英文を音読する、もう一人が、内容を再び述べる準備をする。いろいろ組み合わせると、もう、無限に広がる。

E: 最後に、このようにも言えます。つまり効果的な読む、聞く練習が、作り出す（発信する）活動、たとえば、要約、音読、リピート、シャドーイングなど一体となっている、そんな勉強をしている英語学習者は、英語を総合的に勉強していると言えるのです。

T: 昔のサーカスの呼び込みは、「すべてが一つのテントで繰り広げられています」と言っていましたね。

E: その通りです。それでは、みなさん、ぜひ、ショーへきてみてください。

テツとエドワードはそんな助言を伝えていますか。

1分間で英語で説明してください。

■Model

日本人の英語学習者は、英語の学習において、受動的だと見える。この受動的な態度は、中学、高校で受けた英語の授業で育まれた。彼らは、講義調の授業で英語を学んでいる。あるいは、ほとんど講義調で行われる他の科目の授業に影響を受けている。

読む、聞くという活動は、受動的な活動だと思われる。しかしながら、作り出す活動（発信する活動）と受け取る活動（受信活動）を上手に組み合わせた活動によって、読むのが上手、聞くのが上手という人になれる。

Dialogue 3 を聞いて、「エドワードとテツは、どんな助言を与えているか」という問いに1分間で答えてみましょう。

■Dialogue 3

E: 先ほどの会話に関連して、学習により積極的だという学習者の方について、あと一つ取り上げておこなう点があるかと思うのですが…。いいですか？

T: もちろんです。

E: 補充形式の問題（空所補充や完成問題）について、多くの日本の学習者のみなさんは、簡単すぎる方法で、よく答えます。

T: 補充形式の問題というと、文の一部だけが与えられていて、学習者が、想像してそれを完成する、という形式の問題ですか？

E: その通りです。この種の活動は、とても学習者には有益であるはずなのです。というのも実際に役立つ文法の練習と、現実の世界での状況を模擬的に想定しての練習、という両方の機会になるからです。

T: わかります。日本の学習者たちは、文法の側面だけに照準を当て、現実的な、あるいは、興味深い、そんな答えを出すことについては、ほとんど考えをめぐらせていません。

E: 想像することは、大切です、単なるゲームとしてではなく。言葉は実際の世界に存在しているし、生きているものなのです。私たちは、ある種の創造力を日々使っています。話すときはいつも使っているのです。会話は、創造、作り出す過程であり、その過程は、外国語を学ぶときに、練習できるし、練習されるべきものなのです。たとえば仮定法を考えてみます。「If I were you I....」という文の一部を与えられて、「完成させなさい」と問われたとします。ちょっとした創造力、作り出すこと、と、文法への配慮、この両方が使われるべきなのです。次の二つの例について考えてみます。

1 僕が君だったら、行くよなあ。

2 僕が君だったら、その講義に行くかもしれませんね。だって、講師がすばらしいじゃないですか。どちらが良いでしょうか。文法的には両方とも正しいのですが、2の例には、現実的な深みがあります。

T: まさしくその通りです。このシリーズでは、私たちは、生きている言葉ということを心にとどめて、学習者のみなさんに、創造する、作り出すことを、推奨していきましょう。

テツとエドワードはそんな助言を伝えていますか。

1分間で英語で説明してください。

■Model

学習者は、新しい表現、あるいは文型を学ぶとき、想像する力を使わなければならない。学習者は、学習している文型に、現実の世界で、いつ、どんな状況で出くわすことになるのか、といったことにもっと注目すべきだ。状況を創造して、新しい表現、単語や文型を使って文章を組み立てるのだ。考え方によっては、言葉を発する、ということは、いつも想像力を使うということである。

Dialogue 4 を聞いて、「エドワードとテツは、どんな助言を与えているか」

という問いに1分間で答えてみましょう。

■Dialogue 4

E: テツ、私たちは、これまで幅広い学習者のみなさんに出会えて、とても幸運だと思うのです。

T: 本当です。小学生の子供たち、大学生、そして社会人のみなさん、みんなそれぞれの生活がとても忙しい人たちです。

T: 時々思うのですが、みなさんは勉強する時間をどうやって見つけているのでしょうか？

E: 本当ですね。みなさん、とても忙しいですが、決して授業の準備を怠ったりはしていません。長い間教えてきた間に、彼らの秘密を学びました。

T: 私もです。この宝石のような秘密を、今日、学習者のみなさんと共有すべきだと思います。

E: テツから、始めますか？

T: はい！ もう、エドワードは知っていると思いますが、私は仕事から仕事へ移動するとき、車を運転している時間が多いのです。

E: そうですよ。自動車がテツの第二の事務所ですね。

T: その通りです！ 「出発前、運転中、到着して」という三段学習を知っていますか？

E: 面白そうですね…。それはどんなことですか？

T: 車に乗り込んだら、少し時間をかけて、オーディオ機器で何を聞こうか、ということを考えます。運転する前に。

E: そうですよ。安全第一です。

T: 当然です。運転する前に、通勤途中で聞くために録音されたものと関連している、文字で書かれたものを準備する。それを少しの時間でしっかり読む。それから、運転しながら、聞く。これが聞く練習にはとても効果的な方法なのです。聞く英文は、そんなに長いものでなくてもいいのです。大切なのは、口に出して繰り返すことです。シャドーイング、内容の再生、暗記をすることもできます。でも安全運転には気を付けなくては…。

職場についたら、車からすぐ離れてはいけません。文字で書かれたものに目を通して、運転しながら練習した英文を目で確認するのです。

E: 一石二鳥ですね。

T: その通り。予定を変えることなく、勉強時間を増やすことになります！ 計画、戦略、時間管理、こういったことがとても大切なのです。

E: 最後に、言葉の勉強におけるインターネットの大切さについて話しましょう。テツ、西洋の歴史の各時代には、それぞれ呼び名みたいなものが付けられていますね。たとえば、中世は、信仰の時代。とい

うのも、みんな完全に神を信じていたからです。

T: 私も覚えています。ルネッサンス時代は、「探検の時代」とかいった具合ですね。

E: 21世紀は、「情報の時代」と呼ばれています。そして、インターネットが、大切な要素になっています。素晴らしい学習のための教材源です。同時に、自分の英語を実用的、日常的に使用するところへ持っていく、素晴らしい手段でもあります。テツは、インターネットをどんな風に活用していますか？

T: 私は、ラジオオーストラリアを聞いて楽しんでいるし、音楽番組を流しているインターネット上のラジオ放送も楽しんでいます。

E: 良いものを選んでいきますね。

T: 学生の頃は、英字新聞一部を手に入れるのが難しかった。今や、記事だけでなく、音も、映像も、一度クリックすれば手に入る。エドワード、何かインターネット上に、学習者のみなさんが興味を持つような情報源で、おすすめのものはありませんか？

E: よろこんで紹介しましょう。まずは、私たちのサイトですね。ほんとうに、私たちのこの内容、大好きです。うまく自分たちを宣伝できたところで、次にもう少し、すばらしいものを紹介しましょう。

T: 聞いてくださっている学習者の多くの方が、NHKの英語学習者向け番組を見たり聞いたりして楽しんでいると思うのですが。他に何か良いものがありますか？

E: Facebookに参加することも一つの方法です。無料だし、面白い本当に国際的な仲間のいるグループに入ることができる。英語でおしゃべりしたり、しかも、時間差なしの生で。とても楽しいです。TED TALKSもおすすめです。これは、地球上でもっとも影響力を持った人たちの何人かが行った講義に接続することができるものです。車の中で、この人たちの素晴らしい講義を流して、たとえば、毎日流して聞くということは、素晴らしい学習の機会になると思います。

T: エドワード、良い助言をありがとうございます。

テツとエドワードはそんな助言を伝えていますか。

1分間で英語で説明してください。

■ Model

我々は、「勉強する時間がない」と、言うべきではない。効率よく英語を学ぶ人達は、学習計画を立て、そしてまた効果的な学習戦略を持っている。英語力を磨くために、今ある日々の予定をこなしながら、何をすべきか決めることが良い考えである。

毎日選んだ教材を繰り返し学習することで、確実に進歩するだろう。インターネット上の好きなサイトに定期的に接続することもよい考えだ。英語学習や、関連したインターネット上のサイトや、インターネットにある教材を聞く、といった英語学習を生活の一部にすべきである。

T: エドワードお勧めのサイトはこちらです。

E: 英語のサイトに接続することを毎日の習慣にして、英語の学習を生活の一部にしてもらえたらと思います。私がお勧めするサイトは Facebook: <http://www.facebook.com/> それと TED TALKS: 広める価値のある意見、ウェブアドレスは <http://www.ted.com/> です。最後にもうひとつ English Stories on Line という素晴らしいサイトで、アドレスは <http://www.rong-chang.com/> です。

T: エドワード、ありがとう。

■ Closing Dialogue

E: 今日の勉強、練習はいかがでしたか。

T: 私たちの助言は、みなさんに刺激となるものだったかな…？

E: テツ、来月はどうなるんだい？

T: 聞くための教材を、より効果的に利用する方法をみなさんにお伝えします。

E: それてしまいますが、みなさんには、何がくるんだろうと、ハラハラしていてももらいたいな…

T: そうだね。次回、聞いてみてのお楽しみ！

E: 常に最善を尽くします。

T: 「勉強する時間がありません」とってはダメですよ。

T&E: 学び続けることを続けるのです！